

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	担 当 教 員
消化器コース	必修	4	3	1	月～金	村上和成 (消化器内科) 猪股雅史 (消化器・小児外科)

【科目名の英文】 Digestive Organs

【授業の概要】

消化器系の正常構造と機能を理解し、主な消化器系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

【具体的な到達目標】

《構造と機能》

- ①各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。
- ②腹膜と臓器の関係を説明できる。
- ③食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。
- ④消化管運動の仕組みを説明できる。
- ⑤消化器官に対する自律神経の作用を説明できる。
- ⑥肝の構造と機能を説明できる。
- ⑦胃液の作用と分泌機序を説明できる。
- ⑧胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。
- ⑨膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。
- ⑩小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。
- ⑪大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。
- ⑫主な消化管ホルモンの作用を説明できる。
- ⑬歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。
- ⑭咀嚼と嚥下の機構を説明できる。
- ⑮消化管の正常細菌叢（腸内細菌叢）の役割を説明できる。

《診断と検査の基本》

- ①代表的な肝炎ウイルス検査の検査項目を列挙し、その意義を説明できる。
- ②消化器関連の代表的な腫瘍マーカー（ $\alpha$ -fetoprotein <AFP>、carcinoembryonic antigen <CEA>、carbohydrate antigen <CA> 19-9、protein induced by vitamin K absence or antagonists <PIVKA>-II）の意義を説明できる。
- ③消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈および手術を含めた治療法を選択できる。
- ④消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。
- ⑤生検と細胞診の意義と適応を説明できる。

《症候》

肝腫大

- ①肝腫大をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。
- ②肝腫大のある患者における医療面接、診察と診断の要点を説明できる。

その他の症候

- ①黄疸
- ②腹痛
- ③悪心・嘔吐
- ④食思(欲)不振
- ⑤便秘・下痢・血便
- ⑥吐血・下血
- ⑦腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤

《疾患》

(1) 食道疾患

- ①食道・胃静脈瘤の病態生理、内視鏡分類と治療を説明できる。
- ②胃食道逆流症(gastroesophageal reflux disease <GERD>)と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。
- ③Mallory-Weiss 症候群を概説できる。
- ④食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。

⑤食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。

⑥食道アカシアの病態と治療が説明できる。

## (2) 胃・十二指腸疾患

①胃潰瘍、十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)の病因、症候、進行度分類、診断と治療を説明できる。

②Helicobacter pylori 感染症の診断と治療を説明できる。

③胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。

④急性胃粘膜病変の概念、診断と治療を説明できる。

⑤急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。

⑥胃切除後症候群の病態生理を説明できる。

⑦機能性消化管障害(機能性ディスぺプシア(functional dyspepsia <FD>))を説明できる。

⑧肥厚性幽門狭窄症を概説できる。

⑨胃癌の疫学、病理所見、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。

⑩胃癌の診断法を列挙し、所見とその意義を説明できる。

⑪胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。

## (3) 小腸・大腸疾患

①急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。

②腸閉塞とイレウスの病因、症候、診断と治療を説明できる。

③炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・Crohn病)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。

④痔核と痔瘻の病態生理、症候と診断を説明できる。

⑤機能性消化管障害(過敏性腸症候群)を概説できる。

⑥腸管憩室症(大腸憩室炎と大腸憩室出血)を概説できる。

⑦薬物性腸炎を概説できる。

⑧消化管ポリポーシスを概説できる。

⑨大腸の主な先天性疾患(鎖肛、Hirschsprung病)を概説できる。

⑩腸重積症を概説できる。

⑪便秘症、乳児下痢症を説明できる。

⑫感染性腸炎を概説できる。

⑬虚血性大腸炎を概説できる。

⑭急性出血性直腸潰瘍を概説できる。

⑮上腸間膜動脈閉塞症を概説できる。

⑯消化管神経内分泌腫瘍(neuroendocrine tumor <NET>)を概説できる。

⑰消化管間質腫瘍(gastrointestinal stromal tumor <GIST>)を概説できる。

⑱大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。

⑲大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。

## (4) 胆道疾患

①胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。

②胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。

③胆嚢ポリープを概説できる。

④先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。

⑤胆嚢・胆管癌・乳頭部癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。

## (5) 肝疾患

①A型・B型・C型・D型・E型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。

②急性肝炎、慢性肝炎の定義を説明できる。

③急性肝不全の概念、診断を説明できる。

④肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。

⑤肝硬変の合併症(門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌)を概説できる。

⑥アルコール性肝障害を概説できる。

⑦薬物性肝障害を概説できる。

⑧肝膿瘍の症候、診断と治療を説明できる。

⑨原発性胆汁性胆管炎(原発性胆汁性肝硬変)と原発性硬化性胆管炎の症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。

⑩自己免疫性肝炎を概説できる。

⑩脂肪性肝疾患を概説できる。

⑪原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。

### (6) 膵臓疾患

①急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。

②慢性膵炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。

③自己免疫性膵炎を概説できる。

④膵癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。

⑤嚢胞性膵腫瘍の分類と病理所見を説明できる

### (7) 腹膜・腹壁・横隔膜疾患

①腹膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。

②ヘルニアの概念、病態（滑脱、嵌頓、絞扼）と好発部位を説明できる。

③鼠径部ヘルニアの病因、病態、診断と治療を説明できる。

④腹膜中皮腫を概説できる。

### (8) 腹部救急、外傷など

①急性腹症の病因、症候、診断と治療を説明できる。

②外傷の成因、救命処置、治療法の選択を説明できる。

### (9) 小児外科

①小児外科疾患の病因、症候、診断と治療を説明できる。

### (10) 肥満外科

①肥満症の定義や合併症について説明できる。

②肥満外科手術の種類や効果、手術適応について説明できる。

### 【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	胃癌	胃癌の疫学と予防	村上, 消内	講義
2	消化器外科総論	消化器外科の温故知新	猪股, 消外	講義
3	胃疾患	胃癌の診断、治療法	衛藤, 消外	講義
4	局所解剖	消化管の外科局所解剖	赤木, 消外	講義
5	画像診断	放射線診断基礎	浅山, 放射	講義
6	上部消化管	上部消化管の内科的治療	高橋, 消内	講義
7	下部消化管疾患	下部消化管疾患の疫学、診断、治療	小坂, 消内	講義
8	ヘリコバクター感染症	ヘリコバクター感染症の現状	兒玉, 消内	講義
9	画像診断	腹部救急の画像診断	島田, 放射	講義
10	画像診断	消化管の画像診断	高司, 放射	講義
11	画像診断	腹膜の画像診断	本郷, 放射	講義
12	消化性潰瘍	消化性潰瘍の疫学、診断、治療	小川, 消内	講義
13	急性腹症	内科から見た急性腹症	水上, 消内	講義
14	肥満外科治療	肥満外科治療の現状	遠藤, 消外	講義
15	大腸・小腸疾患	大腸・小腸疾患の疫学、診断、治療	白下, 消外	講義
16	ヘルニア	ヘルニアの診断と治療	河野, 消外	講義
17	術後合併症管理	術後合併症の診断と治療	板井, 消外	講義
18	小腸疾患	内科から見た小腸疾患	水上, 消内	講義
19	急性腹症	外科から見た急性腹症	上田, 消外	講義
20	内科学習発表	グループごとの学習発表会	遠藤, 消内	講義
21	解剖	肝胆膵の外科局所解剖	遠藤, 消外	発表会
22	消化管感染症	細菌性・ウイルス性消化管感染症	西園, 微生物	講義
23	寄生虫病	消化器寄生性寄生虫病	小林, 感染予防医学	講義
24	胆道疾患	胆嚢炎、胆管炎	岡本, 消内	発表会
25	門脈圧亢進症	門脈圧亢進症の原因、診断、治療	太田, 消外	講義
26	膵臓疾患	膵臓癌、膵炎	福田, 消内	講義

27	膵臓疾患	膵癌の診断と外科治療	平下, 消外	講義
28	食道疾患	食道疾患の疫学、診断、治療	柴田, 消外	講義
29	小児外科	小児外科①	小川, 消外	講義
30	胆道疾患	悪性胆道疾患の診断と治療	増田, 消外	講義
31	肝臓	肝総論、急性肝炎	遠藤, 消内	講義
32	胆石症	胆石症の診断と治療	川崎, 消外	講義
33	小児外科	小児外科②	小川, 消外	講義
34	外科学習発表	グループごとの学習発表会	遠藤, 消外	講義
35	肝臓	肝機能検査の読み方	遠藤, 消内	発表会
36	肝疾患	肝硬変、自己免疫肝疾患	荒川, 消内	講義
37	内視鏡外科	内視鏡外科の現状と展望	猪股, 消外	講義
38	肝疾患	肝腫瘍、肝癌内科的治療	岩尾, 消内	講義
39	肝腫瘍	転移性肝腫瘍	川崎, 消外	講義
40	画像診断	肝・胆・膵の画像診断	浅山, 放射	講義
41	外傷	外傷外科、腹部救急の診断と治療	藤島, 消外	講義
42	臨床試験	臨床試験概論	河野, 消外	講義
43	肝疾患	NASH、アルコールと肝疾患	得丸, 消内	講義
44	肝炎	B型肝炎、C型肝炎	齋藤, 消内	講義
45	外科基本手技	縫合・結紮と創傷治癒	二宮, 消外	講義
46	放射線治療	放射線治療基礎	板谷, 放射	講義
47	肝細胞癌	肝細胞癌の外科治療	増田, 消外	講義
48	肝疾患	黄疸、ビリルビン代謝、遺伝性肝疾患	岩尾, 消内	講義
49	小児外科	特別講義	山高篤行先生 (順天堂大学)	講義

**【アクティブラーニングの内容】**

学習発表会でディスカッションを行う。

**【その他の工夫】**

動画を使用するなどし、理解しやすい講義をこころがける。

**【時間外学修の内容と時間の目安】**

参考書や配布資料で予習、復習を1時間/日。グループ発表は2時間/回。

**【教科書】**

教科書は指定しない（Moodleで資料を提示する）

**【参考書】**

- ・矢崎義雄、朝倉内科学、朝倉書店、2017年
- ・北野正剛、標準外科学、医学書院、2019年
- ・猪股雅史ほか、わかりやすい外科学、文光堂、2017年

**【成績評価の方法及び評価割合】**

授業時間の2/3以上の出席がなければ、受験資格を与えない。コースの最後に筆記試験を行い、その結果と日頃の授業態度を総合的に判断して合否を決定する。総合的に60%の得点で合格とする。

**【注意事項】**

教員が一方向的に話すだけにならないように、学生に意見を述べてもらう場を頻りに設ける。

**【備考】**

最終時間割はコース前に配布する。

教員の実務経験の有無

○

医師

教員以外で指導に関わる 実務経験の有無	<input type="radio"/> 医師
実務経験をいかした 教育内容	臨床医として経験した実際の症例などを提示し、教育に生かしている。
授業形式	対面授業